

2022年度事業報告書

(2022年9月6日～2023年5月31日)

一般社団法人小豆島クライミング協会

2022年度の当協会の事業等について報告いたします。

【概況】

2021年5月頃より、小豆島のエリア一帯のクライミング文化の活性化と、クライミングによる地域振興を視野に入れた活動を行っていくことを目指し協議会を企画。2021年7月11日、任意団体「小豆島クライミング振興協議会」の初回ミーティングを実施。

クライミングによる地域振興イベント「瀬戸内JAM」の2022年度の実施をきっかけに、小豆島の開拓中の岩場「赤嶽」の公開に向けて活動を本格化。2022年9月6日に一般社団法人として設立。法人として活動を開始。

本事業年度は、「赤嶽」公開に向けたクラウドファンディングを実施。181人、1,400,063円の支援を獲得。11月20日、「赤嶽」一般公開。公開に伴う公開セレモニーを多部体育館にて開催。公開に伴い赤嶽トポを制作。他、公開に向けた地域住民や地権者との調整活動。

岩場での活動として、赤嶽の継続開拓の他、小豆島内の新エリア開拓の調査や開拓の実施。その他、小豆島町、土庄町両町との継続的なコミュニケーション、訪問。小豆島観光協会入会。

【会議開催状況】

・社員総会 8回 [12/4, 1/8, 2/5, 3/23, 4/2, 5/7, 5/17]

【2022年度社員、会員状況】

・社員 4名

・会員 198名（クラウドファンディング）

【クライミングを行う岩場の整備・開拓・管理等】

・赤嶽:クラウドファンディングリターンのルート2本

・新エリア:調査および開拓

【クライミングを行う岩場の安全及び事故予防に関する啓発】

- SNS、HP(ホームページ)にて、赤嶽を利用するクライマーに向けて、注意喚起等を発信。

【クライミングを行う岩場に関する情報提供】

- 山と溪谷社「Rock & Snow98 号」にて赤嶽特集が掲載。
- 四国新聞(2023年1月14日)にて赤嶽の記事掲載。
- Podcast番組「MOTION GALLERY CROSSING」vol.129にて赤嶽のクラウドファンディングプロジェクトがピックアップされ、社員の北原が出演
- 毎日新聞(2023年3月10日)にて赤嶽の記事掲載。
- SNS、HPにて、赤嶽を利用するクライマーに向けて、活動情報、お知らせ等を発信。

以上